

2009年3月期 決算説明会 データブック

シダックス株式会社
2009年5月27日

平成21年3月期 決算トピックス

I. 連結経営成績

[短信 1及び4～5ページ記載]

当連結会計年度における経済環境は、米国を中心とした金融危機による世界的な景気後退に加えて、急速な円高等の影響により、輸出関連製造企業の工場の減産や閉鎖が余儀なくされ、企業業績、雇用環境も急速に悪化してまいりました。

このような環境のもと、当社グループでは水平垂直統合型グループ構造の強化を最重要に位置づけ、グループ総合力を活かした営業拡大や当社が掲げる「マザーフード」のブランド戦略、カラオケケータイ会員数の拡大、事業所給食店舗の解約防止などによる売上維持拡大戦略、一元物流導入率アップなどの利益拡大戦略などの経営戦略を推進するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制を強化するために、製造メーカー、お取引業者様と一体となった品質管理の向上に努めてまいりました。

■平成21年3月期 連結決算ハイライト

(単位:百万円)

	2008年3月期						2009年3月期						2009年3月期 (通期計画)	
	第2四半期(実績)			通 期(実績)			第2四半期(実績)			通 期(実績)			期初予想	達成率
		構成比	増減率		構成比	増減率		構成比	増減率		構成比	増減率		
売上高	112,041	100.0%	39.6%	226,072	100.0%	29.1%	109,539	100.0%	△2.2%	218,480	100.0%	△3.4%	226,500	96.5%
売上総利益	15,760	14.1%	47.7%	33,838	15.0%	40.4%	14,527	13.3%	△7.8%	30,893	14.1%	△8.7%	—	—
販売費及び一般管理費	11,215	10.0%	51.8%	22,629	10.0%	39.8%	11,303	10.3%	0.8%	22,198	10.2%	△1.9%	—	—
営業利益	4,544	4.1%	38.3%	11,209	5.0%	41.7%	3,223	2.9%	△29.1%	8,694	4.0%	△22.4%	11,500	75.6%
経常利益	4,256	3.8%	31.7%	10,667	4.7%	34.4%	2,763	2.5%	△35.1%	7,831	3.6%	△26.6%	10,900	71.9%
当期利益又は当期純損失	832	0.7%	281.1%	△ 10,039	—	△ 757.2%	544	0.5%	△ 34.6%	517	0.2%	—	4,000	13.0%
総資産	119,772	—	△5.0%	103,432	—	△17.9%	112,091	—	8.4%	107,212	—	3.7%	—	—
純資産	36,363	—	12.4%	25,613	—	△20.8%	23,286	—	△9.1%	22,637	—	△11.6%	—	—
EPS(1株当たり純利益)	22円58銭	—	—	△262円25銭	—	—	13円70銭	—	—	12円85銭	—	—	104円48銭	—
BPS(1株当たり純資産)	868円12銭	—	—	586円75銭	—	—	581円40銭	—	—	550円62銭	—	—	—	—

【売上高】 2,185億円(期初予想対比△3.5%)

- ①レストランカラオケ事業…世界的な景気後退に伴う個人消費の冷え込みなどにより、売上高は既存店前年比95.1%での推移となり、期初予想を40億円下回る。
- ②給食事業…受託先企業の合理化政策による解約及び契約内容の見直しの影響により、期初予想を24億円下回る。
- ③スペシャリティーレストラン事業…急激な景況感の悪化、消費マインドの低下、外食離れ、低価格志向の強まりなどが顕著となり、北米・国内ともに苦戦を強いられ、期初予想を12億円下回る。

【営業・経常利益】 営業利益87億円 経常利益78億円(期初予想対比△24.4%、△28.1%)
 レストランカラオケ事業での広告・宣伝の効率化や新規出店及びリニューアル工事の延期に加えて、給食事業においても、一元物流導入率の向上を図り、“食の安心・安全”を一層強化するとともに、販売費及び一般管理費の適正化によるコスト縮小に努めたが、売上高の減少を補うまでには至らず、期初予想を下回る。
 【当期純利益】 5億円(期初予想40億円)
 当社グループが所有する固定資産について24億円の減損損失(うちのれんの減損損失が15億円)を計上したことなどにより、期初予想を下回る。

II. 特別損失の計上(個別・連結)及び配当について

[4/20、5/8適時開示資料記載]

当社の在米連結子会社グループの連結決算におきまして、米国財務会計基準書第142号に基づくのれんの減損テストを行った結果、公正価額が簿価を下回っていると判断されたため、のれんの減損損失が発生いたしました。それに伴い、当社の連結決算におきまして、のれんの減損損失として15億円を計上いたしました。その他、連結子会社が所有する主にレストランカラオケ店舗等の有形固定資産の減損損失と合わせ、通期合計で24億円を減損損失として計上いたしました。

個別決算におきましては、上記在米連結子会社グループにおけるのれんの減損損失の発生により、当社が保有するShidax USA Coporation株式の実質価額が著しく下落したため、子会社株式評価損40億円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上の利益剰余金がマイナスとなりますが、期末配当につきましては株主の皆様への安定配当を目的として、平成21年6月26日開催予定の当社第8回定時株主総会において「資本準備金の額の減少の件」が可決承認されることを条件に、平成21年3月期の1株当たり期末配当15円(1単元につき1,500円)を予定しております。

Ⅲ. セグメント別業績の増減説明

[短信 4～5ページ及び44～47ページ記載]

■ セグメント別業績(一部加工)

(単位:百万円)

外部売上高	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
給食事業	6,865	6,732	△ 132	△1.9%
エスロジックス事業	39,073	36,608	△ 2,464	△6.3%
コントラクトフード事業	40,446	38,944	△ 1,501	△3.7%
メディカルフード事業				
計	86,384	82,285	△ 4,098	△4.7%
レストランカラオケ事業	62,934	60,263	△ 2,670	△4.2%
スペシャリティーレストラン事業	25,357	23,342	△ 2,015	△7.9%
コンビニエンス中食事業	12,482	12,531	49	0.4%
トータルアウトソーシング事業	36,200	37,141	940	2.6%
その他の事業	2,713	2,916	202	7.5%
消去又は全社	—	—	—	—
外部売上高 計	226,072	218,480	△ 7,592	△3.4%

内部売上高	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	52,293	51,079	△ 1,213	△2.3%

(単位:百万円)

営業利益	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
給食事業	4,536	4,526	△ 9	△0.2%
エスロジックス事業	2,000	1,667	△ 332	△16.6%
コントラクトフード事業	△ 16	△ 71	△ 54	△339.8%
メディカルフード事業				
計	6,520	6,123	△ 396	△6.1%
レストランカラオケ事業	7,125	5,034	△ 2,090	△29.3%
スペシャリティーレストラン事業	△ 353	△ 609	△ 255	△72.2%
コンビニエンス中食事業	△ 92	113	206	222.1%
トータルアウトソーシング事業	2,751	2,516	△ 234	△8.5%
その他事業	△ 479	260	740	154.2%
消去又は全社≒HQコスト	△ 4,260	△ 4,744	△ 483	△11.3%
営業利益 計	11,209	8,694	△ 2,514	△22.4%

□エスロジックス事業は、主たる売り先であるグループ内給食事業の売上減少の影響を受けましたが、一元物流の導入率アップを図り収益性の向上に努めるとともに、アライアンスによる購買スケールメリットのさらなる追求と付加価値の高い商品の提供により、営業利益は45億円(前年対比0.2%減)となり、前期水準を維持しました。

□コントラクトフードサービス事業は、一元物流による「安心・安全」な食材の利用促進や販売費及び一般管理費の適正化によるコスト削減に努めてまいりましたが、下期以降の急激な景気減速に伴う大手製造企業の生産調整・人員削減などの影響により、受託先企業の契約内容の見直しや解約の影響を受け、売上高は366億円(前年対比6.3%減)、営業利益は17億円(前年対比16.6%減)となりました。

□メディカルフードサービス事業は、赤字店舗の見直し交渉を行い、収益性の改善に努めるとともに、食材一元調達によるコスト縮小にも努めてまいりましたが、同業他社との競争が激化したこともあり、売上高は389億円(前年対比3.7%減)となりました。

□レストランカラオケ事業は、昨今の経済環境の影響を受け個人消費が冷え込んだことなどにより、お客様来店数(既存店前年比3.4%減)・お客様単価(既存店前年比0.8%減)ともに減少となり、売上高は603億円(前年対比4.2%減)、営業利益は50億円(前年対比29.3%減)となりました。

□スペシャリティーレストラン事業は、急激な景気減速に伴う節約志向・低価格志向や外食離れの影響を受け北米・国内市場ともに厳しい経営となり、売上高は233億円(前年対比7.9%減)、営業利益は△6億円(前年対比72.2%減)となりました。

□コンビニエンス中食事業は、経営状況の厳しい公立・民間病院等の閉鎖も相次ぐ中、新規店舗を23店舗獲得するなど営業開発に注力するとともに、本社移転・バックオフィスの統合などによる経営・業務の効率化を図った結果、営業利益は1億円(前年対比222.1%増)となり、平成16年12月の連結子会社化後、初の黒字となりました。

□トータルアウトソーシング事業は、トップブランドを活かした黒塗り乗用車の受託、旅客許認可を活かした幅広いバス事業の受託などを行い、シェア拡大に努めてまいりましたが、下期以降の急激な景気減速による解約・値引要請などもあり、売上高は371億円(前年対比2.6%増)、営業利益は25億円(前年対比8.5%減)となりました。

IV. 連結貸借対照表の増減説明

[短信 19～20ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額
現金及び預金	14,649	13,720	△ 929
売上債権	13,985	13,227	△ 757
その他流動資産	7,598	8,104	506
有形固定資産	32,081	32,891	809
保証金等	11,787	12,111	323
のれん	6,485	12,778	6,292
その他固定資産・投資等	16,843	14,379	△ 2,463
資産計	103,432	107,212	3,780

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額
仕入債務	9,340	8,586	△ 753
借入金・社債・リース債務	47,843	57,722	9,878
その他負債	20,635	18,266	△ 2,368
純資産	25,613	22,637	△ 2,975
自己資本比率	22.5%	21.0%	△ 1.5%

□総資産は、前期末に比べ38億円増加し1,072億円(前年対比3.7%増)となりました。

流動資産は前期末に比べ12億円減少し351億円となりましたが、固定資産は子会社株式の追加取得等によりのれんが63億円増加したこともあり、前期末に比べ50億円増加し722億円となりました。

□負債は、前期末に比べ68億円増加し846億円(前年対比8.7%増)となりました。

流動負債は1年内返済予定の長期借入金が55億円増加したことなどにより、前期末に比べ40億円増加し431億円となりました。固定負債は当連結会計年度より「リース取引に関する会計基準」を適用しリース債務が20億円計上されたこと及び長期借入金が16億円増加したことなどにより、前期末に比べ28億円増加し415億円となりました。

□純資産は、前期末に比べ30億円減少し226億円(前年対11.6%減)となりました。

純資産減少の主因は、大新東株式の追加取得等により少数株主持分が22億円減少したこと、及び急激な円高の進行により為替換算調整勘定が12億円減少したことなどによりです。以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ1.5ポイント減少し21.0%となりました。

今期は、大新東の株式TOB取得に伴い昨年来急増した有利子負債の圧縮に努めるとともに、収益性の向上を図り、経営資源の更なる効率配分の促進を進めてまいります。

V. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信 8ページ及び24～25ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	8,910	8,233	△ 677
投資活動キャッシュ・フロー	△ 2,279	△ 15,485	△ 13,205
財務活動キャッシュ・フロー	△ 8,433	6,779	15,213
換算差額	△ 60	△ 229	△ 169
現金・同等物期末残高	14,186	13,485	△ 701

□営業活動の結果得られた資金は82億円となり、前年同期に比べ7億円の資金減少となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が99億円、減損損失が10億円、貸倒引当金が8億円、仕入債務等が14億円増加した一方、前期に計上されたのれん償却額(特別損失)139億円が当期発生しなかったことなどによります。

□投資活動の結果使用された資金は155億円となり、前年同期に比べ132億円の資金減少となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出が114億円発生したこと及びレストランカラオケ店舗等の新規オープン(6店舗)及びリニューアル工事(18店舗)に伴う有形固定資産の取得による支出の増加が17億円あったことなどによります。

□財務活動の結果得られた資金は68億円となり、前年同期に比べ152億円の資金増加となりました。これは主に、大新東の株式TOB取得のための銀行借入によるものであります。

[短信 9ページ記載]

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	19年3月期	20年3月期	21年3月期
自己資本比率(%)	24.1	22.5	21.0
時価ベースの自己資本比率(%)	30.8	19.6	12.1
債務償還年数(年)	5.3	5.4	7.0
インレスト・カバーレッジ・レシオ(倍)	18.0	7.3	6.7

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額
借入金・社債・リース債務	47,843	57,722	9,878
未経過リース料期末残高相当額	13,960	9,019	△ 4,941
合計	61,804	66,741	4,937

□有利子負債等の残高は667億円となり、前期末に比べて50億円の増加となりました。当期におきましては、子会社株式の追加取得のための資金調達等を行ったため、借入金が増加しております。

VI. 平成22年3月期の通期連結業績予想

[短信 1ページ及び6～7ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「マザーフード」の理念のもと、食を中心とした水平垂直統合型によるバランス構造の推進により、「ムダ・ムラ・ムリ」を排除した経営最適化を図り、「食」のフィールド拡大とグループの経営リソースを活かしたトータルアウトソーシングによるソリューションの提供に努めてまいります。

次期といたしましては、連結売上高2,200億円、営業利益90億円、経常利益81億円、当期純利益7億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	21年3月期 実績	22年3月期 業績予想	増減額
売上高	218,480	220,000	1,520
営業利益	8,694	9,000	306
経常利益	7,831	8,100	269
当期純利益	517	700	183

■ 売上高

グループ営業開発部門の強化により、フードサービス事業における新規給食店舗の獲得を図るとともに、既存店舗の解約防止に努めてまいります。また、トータルアウトソーシング事業では、経営環境の悪化に伴う企業のノンコア業務の外部委託ニーズを捉えるとともに、地方自治体マーケットにおける一括アウトソーシングの大型案件の獲得を目指してまいります。レストランカラオケ事業においては、会員サービス・クーポン・割引制度の見直しやテーマ性のあるルーム展開、ケータイ会員向けのマーケティングアプローチなどにより集客力アップに努めることで、個人消費の低迷に対応してまいります。

■ 営業利益・経常利益

エスロジックス事業において、一元物流の一段の強化、物流効率の向上及び食材調達先の集約化による利益確保の仕組みに注力し、利益拡大を図ってまいります。また、その他の事業においても、「ムダ・ムラ・ムリ」を徹底排除し、経営資源の最適化及び即効性のある利益確保を図ってまいります。

Ⅶ. セグメント別店舗数推移表

07年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラ外	増加		79	4	16	10	6	13	128	9	1	5	7	5	10	165
	減少		3	4	4	7	4	6	28	6	7	7	39	13	68	168
	残	1,617	1,693	1,693	1,705	1,708	1,710	1,717	1,717	1,720	1,714	1,712	1,680	1,672	1,614	1,614
メディカル	増加		86	9	18	13	7	17	150	13	3	9	5	6	4	190
	減少		7	10	12	7	2	11	49	9	1	6	7	5	65	142
	残	928	1,007	1,006	1,012	1,018	1,023	1,029	1,029	1,033	1,035	1,038	1,036	1,037	976	976
レストランカオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	303	303	303	302	302	302	302
車両 車両管理台数	増加		330	23	36	33	27	32	481	39	31	46	14	15	15	641
	減少		161	12	18	52	16	23	282	39	26	31	32	29	459	459
	残	3,684	3,853	3,864	3,882	3,863	3,874	3,883	3,883	3,883	3,894	3,914	3,897	3,880	3,866	3,866
社会 管理人員	増加		727	46	33	51	33	49	939	60	19	65	20	9	50	1,162
	減少		231	49	16	42	21	25	384	63	19	31	20	11	28	556
	残	3,215	3,711	3,708	3,725	3,734	3,746	3,770	3,770	3,767	3,767	3,801	3,801	3,799	3,821	3,821
コンビニエンス中食	残	328						343							347	

08年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラ外	増加		50	6	4	4	3	5	72	4	2	1	1	1	0	81
	減少		6	2	3	8	4	10	33	5	7	28	7	10	67	157
	残	1,614	1,658	1,662	1,663	1,659	1,658	1,653	1,653	1,652	1,647	1,620	1,614	1,605	1,538	1,538
メディカル	増加		63	3	6	9	6	2	89	7	6	3	1	4	1	111
	減少		6	9	5	2	8	11	41	11	8	8	5	9	70	152
	残	976	1,033	1,027	1,028	1,033	1,033	1,024	1,024	1,020	1,018	1,013	1,009	1,004	935	935
レストランカオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	減少		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	残	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	301	302	302	302
車両 車両管理台数	増加		294	23	22	40	27	19	425	43	30	27	26	10	6	567
	減少		242	17	34	32	19	32	376	36	21	28	21	18	31	531
	残	3,866	3,918	3,924	3,912	3,920	3,928	3,915	3,915	3,922	3,931	3,930	3,935	3,927	3,902	3,902
社会 管理人員	増加		872	33	20	56	30	58	1,069	121	25	12	29	9	59	1,324
	減少		367	17	12	22	5	50	473	49	48	105	36	41	36	788
	残	3,821	4,326	4,342	4,350	4,384	4,409	4,417	4,417	4,489	4,466	4,373	4,366	4,334	4,357	4,357
コンビニエンス中食	残	347						352							352	

09年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラ外	増加		47	7	2	2	2	1	59	5	1	2	3	3	2	75
	減少		9	7	7	6	4	7	40	5	7	8	4	6	86	156
	残	1,538	1,576	1,576	1,571	1,565	1,563	1,557	1,557	1,557	1,551	1,545	1,544	1,541	1,457	1,457
メディカル	増加		39	2	2	2	1	3	49	3	1	1	0	0	1	55
	減少		6	5	8	4	4	8	35	3	4	4	6	4	43	98
	残	935	968	965	959	957	954	949	949	949	947	944	938	934	892	892
レストランカオケ	増加		0	0	1	2	0	1	4	2	0	0	0	0	0	6
	減少		0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	4
	残	302	302	302	303	305	302	303	303	303	305	305	304	304	304	304
車両 車両管理台数	増加		304	36	35	26	17	18	436	220	15	21	27	8	8	735
	減少		239	31	52	42	27	23	414	74	44	41	46	25	56	700
	残	3,902	3,967	3,972	3,955	3,929	3,929	3,924	3,924	4,070	4,041	4,021	4,002	3,985	3,937	3,937
社会 管理人員	増加		1,106	61	102	50	47	42	1,408	34	30	75	26	18	24	1,615
	減少		542	61	71	43	28	20	765	63	72	59	32	19	39	1,049
	残	4,357	4,921	4,921	4,952	4,959	4,978	5,000	5,000	4,971	4,929	4,945	4,939	4,938	4,923	4,923
コンビニエンス中食	残	352						367							353	

レストランカオケ事業 月次売上・客数推移

04年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,475,101	4,648,838	4,138,549	4,596,585	5,790,062	4,511,084	28,160,219	4,422,732	4,645,458	6,718,696	5,804,974	4,285,869	5,172,820	59,210,768
客数(千人)		3,012	3,148	2,942	3,197	3,936	3,181	19,416	3,069	3,160	4,018	3,744	3,012	3,683	40,102
05年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,955,481	5,243,091	4,381,813	5,183,878	5,773,957	4,844,375	30,382,595	4,788,684	4,473,242	7,130,475	5,938,189	3,990,591	5,375,255	62,079,031
客数(千人)		3,294	3,495	3,007	3,543	4,048	3,414	20,801	3,301	3,062	4,203	3,856	2,925	3,860	42,008
06年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		5,151,814	5,057,459	4,430,087	5,333,377	5,603,894	4,659,870	30,236,501	4,687,878	4,347,649	6,921,812	5,580,396	3,939,507	5,476,709	61,190,451
客数(千人)		3,335	3,364	2,956	3,496	3,808	3,197	20,156	3,091	2,873	4,039	3,681	2,869	3,755	40,464
07年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,958,028	4,800,411	4,283,626	5,059,274	5,618,381	4,708,497	29,428,216	4,454,454	4,391,879	7,338,688	6,201,528	4,370,888	5,704,035	61,889,688
客数(千人)		3,258	3,256	2,917	3,350	3,863	3,297	19,942	3,102	2,917	4,203	3,876	2,919	3,793	40,752
08年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		5,023,010	4,857,046	4,873,770	4,962,776	5,909,420	5,060,840	30,686,861	4,433,461	4,414,016	7,812,703	5,908,594	4,224,751	5,537,833	63,018,219
客数(千人)		3,193	3,135	3,091	3,192	3,875	3,350	19,837	2,912	2,782	4,160	3,553	2,770	3,652	39,667
09年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		4,767,765	5,010,133	4,416,644	4,810,008	5,950,085	4,552,766	29,507,400	4,396,448	4,666,879	7,400,226	5,505,085	3,978,396	4,906,002	60,360,436
客数(千人)		3,032	3,208	2,877	3,198	3,995	3,053	19,363	2,838	2,917	3,889	3,342	2,656	3,308	38,313